



「GALHOUND」のタイトルは耳触り優先で付けたのだが、何だか本当に GALHOUND な内容になってきた…。このテの絵が嫌いな人には申し訳ないが、これもまた士郎正宗だと思って堪忍してね。複数のコマを並べるとお話があるかのように見えるかもしれないが、何も無い。「各ショット重視&寄せ集め」で進めたいと思っている。あるコマはイラスト仕事のラフ、あるコマは小説挿絵のキャラ未使用ラフといった具合だ。今後数年間予定されている作品の中にこういったシーンがほとんど無いので、ここらでラフ倉庫からこのテのものをまとめて提出してしまおうという流れ。これはこれで何となく楽しめるし、良しとしてね。この「GALHOUND」2回目では、光り物や反射物などモノクロで描くのが困難っぽい要素を中心に、お尻をテーマにコマを集めてみた。上手くつながらなかったものや、座っているタイプはまた別の機会に…。よく御存じの方もいるだろうが、僕はこれまでステンレス系のガンを描いてこなかった。設定上、目立たない方が好ましい内容のお話が多かったからだ。ステンレス系のガンに美的要素を見出せなかったからでは無い。銃や兵器など無い世界の方が良いに決まっているが、その事と「描くかどうか」とは別問題であろう。

GALHOUND

20020822



GALGREASE

3

SHIBOW
MASAMUNE

火星に最初に武器が持ち込まれたのはどのような設定でだっただろうか？あるいは現地で生産されたのかな？
赤砂が少なく空が灰紫色でない日、シリル・ブルックリン（名前付きました）はちょっと頑張ってマイクロミニをはいてみました～てな図。

20020828
SHIROW MASAMUNE



密輸防止身体検査名目の「お楽しみ」か、隠して本部に持ち帰ったコンテナの排出作業だろうか。「抜き取り検査室」という題を一応付けておいた。どのみち検査官達はたっぷり時間をかけて作業を楽しむつもりらしいし、シリルに抵抗意志も無さそうだ。不必要に太長い摘出棒が、ここかどういふ部屋かを表している。

20020825
GALHOUND
SHIROW MASAMUNE



